

第26回衛生工学シンポジウムの開催について

拝啓 向暑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当シンポジウムの開催に対し格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年「衛生工学シンポジウム」は第25回の節目を迎えました。特別記念講演会の開催と過去最高となった参加登録人数により、これからの10年、25年に弾みをつけることができました。より一層、皆様に大事にして頂けるシンポジウムにしてゆく所存です。どうか今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

第26回となる「衛生工学シンポジウム」は平成30年11月8日(木)・11月9日(金)に開催します。会場は工学部フロンティア応用科学研究棟です。衛生工学・環境工学全般にわたる最新のトピックに関する議論、研究成果の発信、人的交流などを目的としたシンポジウムとなっております。多くの方のご参加をお待ちしております。

お陰様をもちまして、ここ数年多くの方にご来場を頂いております。参加者数が増えた結果、ポスター発表・企業パネル展示会場の混雑が問題となっております。今回は発表会場の混雑緩和と、より充実した情報交換を行える場の提供を目的としてプログラムの見直しを行い、2日間での開催としました。1日目は従来同様のシンポジウム形式で開催します。「環境工学関連企業・団体の活動紹介」と次年度に修了を控えた「修士・博士学生による研究発表」については、2日目に集中開催します。詳細につきましては別紙の**公募要領**をご参照ください。

本シンポジウムでは、北大の研究を皆様に広く知って頂くためのセッションを含め、多くの方にご興味を持って頂けそうなプログラムを用意しております。本年度も**参加費を1000円**に据え置きます。従来から行ってきた一般研究発表・事例紹介についてもより一層の充実を目指しております。道内外の企業や自治体等から多くの発表申込をお待ちしております。特に、道内自治体からの事例紹介の発表お申込を歓迎致します。このシンポジウムが契機となって、道内の衛生工学・環境工学に関連した産官学のネットワークが緊密になることを期待しております。

一般研究発表・事例紹介はハイブリッド形式で実施しますが、既発表の内容・ポスター等をお使い頂いても結構です。詳細につきましては別紙の**公募要領**をご参照下さい。

皆様お誘い合わせのうえ、衛生工学シンポジウムへご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

衛生工学シンポジウム実行委員会

委員長 松藤 敏彦

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学部環境工学コース内

ご不明な点がございましたら、衛生工学シンポジウム実行委員

木村克輝（電話：011-706-6271, Email: kkatsu@eng.hokudai.ac.jp）

までお問い合わせください。シンポジウムの情報を、本学環境工学ホームページにおいて随時更新しております (<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/course/hygienv>)。ぜひこちらもご参照ください。

1 日目（11 月 8 日（木））

9:00～10:30：北大環境工学スタッフによる各自の研究紹介

ここ数年、北大環境工学コースには新しいスタッフが大勢加わっています。本年度は、新しく北大環境工学に加わってくれたスタッフの研究紹介を行います（登壇予定者：北島正章、若林斉、李相逸、葛隆夫、阪田義隆、田鎖順太、安成哲平、佐藤昌宏、落合知）。

10:40～12:15：一般研究発表・事例紹介

3 分間（予定）の口頭発表の後、フロアでポスター発表を行います（ハイブリッド形式）。

13:00～14:30：企画セッション 1

企画セッション 1-1 「世界に羽ばたく北大 OB・OG 水研究者による最新研究紹介」

（司会：北大 岡部聡）

博士課程進学を巡る社会情勢が必ずしも良好ではない中、北大環境工学ではコンスタントに博士課程修了者を輩出しており、我が国における環境工学研究の一大拠点としての存在感を発揮しています。本セッションでは北大水系研究室で博士を取得した研究者を多数招き、最新の研究成果と博士課程進学の魅力を語って頂きます。

企画セッション 1-2 「環境政策を施行する人材の供給現状・展望」

（司会：北大 葛隆夫）

環境問題を解決するためには、技術開発の他に環境政策の施行が重要な役割を担います。これまでに実際に環境政策を施行してきた方々を招いて環境政策の仕事・活動内容について紹介してもらうとともに、環境政策を行う人材の在り方や、人材供給の現状と今後の展望、人材育成の在り方などについて討論します。

14:40～16:10：企画セッション 2 「環境教育と SDGs」

（司会：北大 石井一英）

持続可能な社会を創出するためには、市民一人一人の意識や行動の変化が重要であり、時間をかけて行っていく必要があります。また国際社会で 2015 年に合意された持続可能な開発目標 (SDGs) を契機に、地球規模の問題を自分自身の問題として捉える重要性や連携・協働の必要性が再認識されつつあります。本企画セッションでは、環境教育と SDGs に焦点を当て、ご経験豊富な皆様に話題提供していただき、今後の持続可能な社会づくりのために、私たち衛生・環境分野

の専門家が果たす役割についてディスカッションしたいと思います。

講演者

北海道環境財団 久保田 学 氏

環境省北海道環境パートナーシップオフィス 大崎 美佳 氏

札幌市環境局環境都市推進部 佐竹 輝洋 氏

16:20~17:50：特別セッション「変化に備えよ：気候変動影響への対応」

(司会：北大 木村克輝)

気候変動による影響が様々な形で現れつつあります。北海道でも連続して台風が上陸し、暴風雨により大きな被害がでたことは我々の記憶に新しく刻まれています。気候変動の影響による被害をできる限り回避・抑制するための取組を進める「気候変動への適応」は急務となっています。本年6月に新たに気候変動適応法が公布され、年内にも施行されることとなったところです。このセッションでは国全体での気候変動への適応策を推進するための取組、そして北海道での取組状況の「今」を俯瞰します。

講演者

環境省 環境研究技術室長 行木 美弥 氏

他2名を予定

18:00~20:00：懇親会

工学部食堂

会費：3,000円(予定)

2日目(11月9日(金))

9:00~10:00 北大環境工学コースの最新研究成果

本コース研究室の最新研究結果を、修士課程1年及び博士後期課程の学生がポスター形式により発表します。大いに交流を深めて頂き、ご助言を頂ければと存じます。

10:15~17:00 衛生工学・環境工学関連企業・自治体の活動紹介・パネル展示

(発表件数に応じて、時間は変更になるかもしれません)

各企業・自治体ごとに数分のパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行って頂いた後、会場を移動してパネル展示による説明を行って頂きます。学部学生も含めた現役学生が多数参加しますので、ご活用頂ければと存じます。